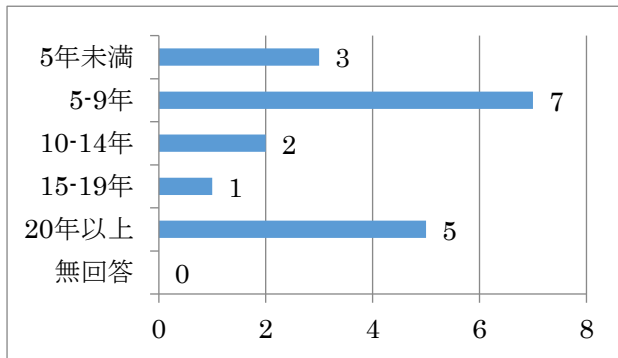


1. 看護制度委員会

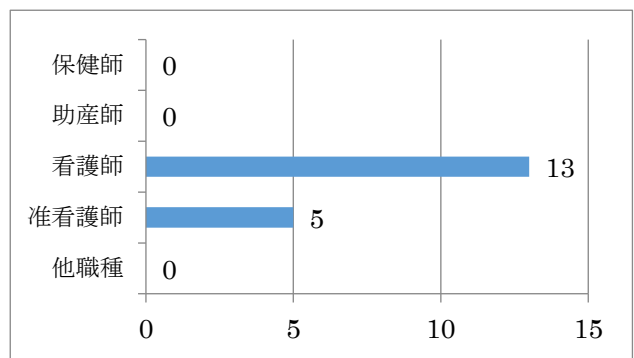
研修名	1)看護記録 ～療養生活をつなぐ看護サマリー～	
開催日時	令和5年 9月13日(水曜日)	時間 13:30～16:30
受講者数	21名(会員16名・非会員5名)	定員 21名
ねらい	送り先の目的にあった看護サマリーの書き方を理解する	
講師	細木病院 ほそぎ入退院サポートセンター 副センター長 柏井早生吏	
内容(キーワード)	サマリーのポイントを理解する 送付先に応じたサマリー記録	集合

1. アンケート結果 回答数 18名 回収率 85.7%

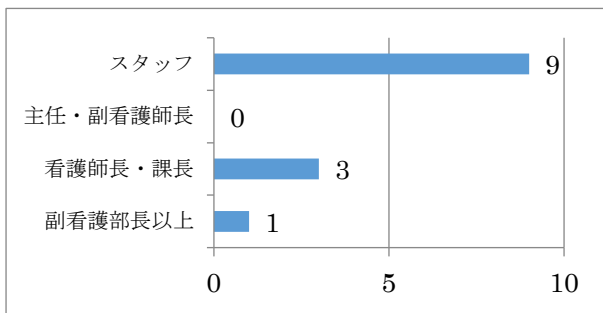
1) 経験年数



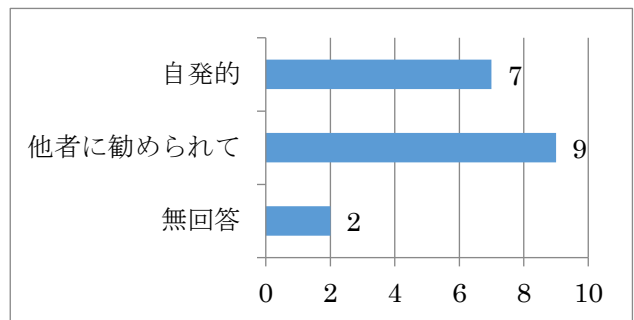
2) 職種



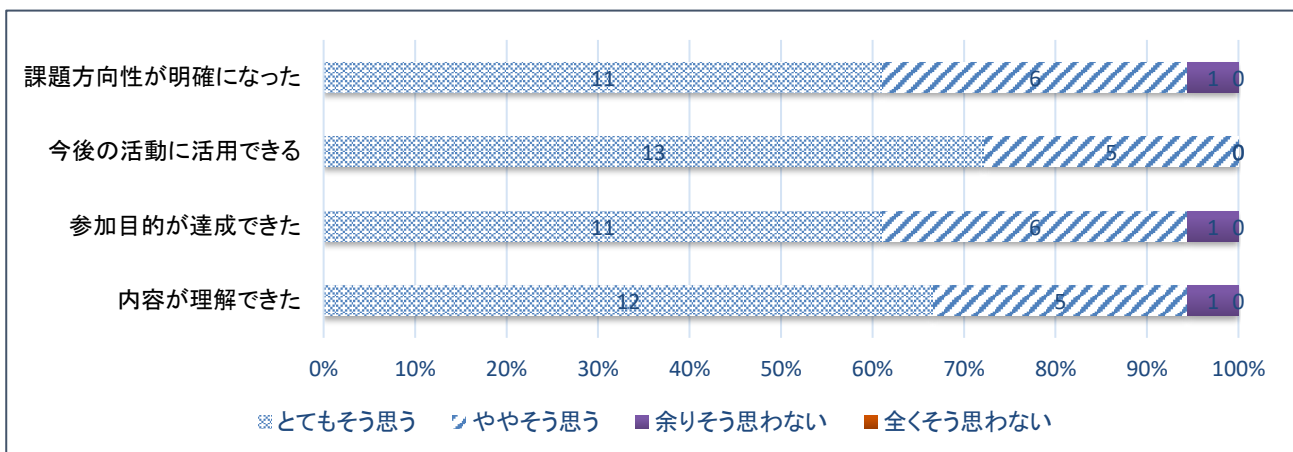
3) 職位について

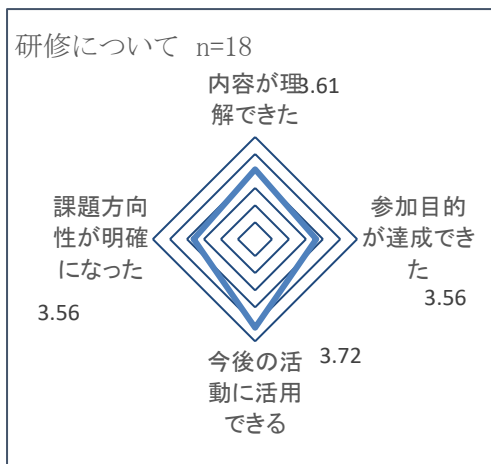


4) 研修参加について



5-1) 本日の研修について

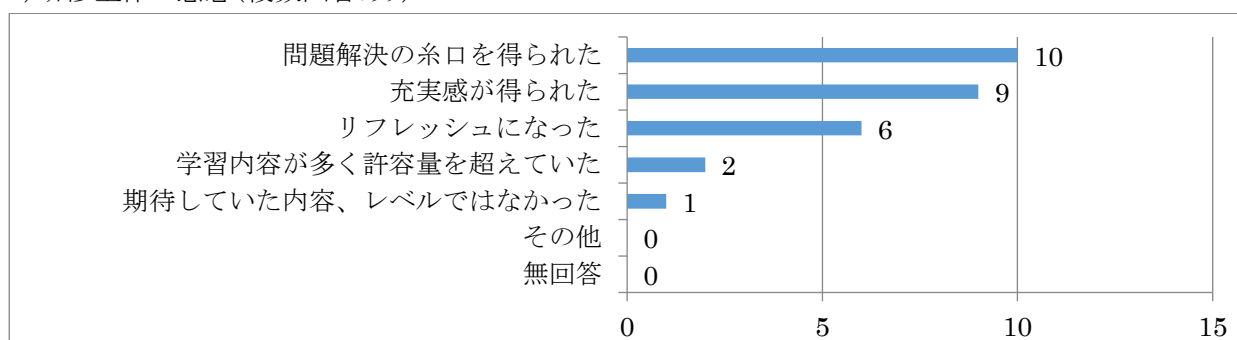




5-2) 上記を選択した理由を記載して下さい(7件の回答)

- ・分かりやすかったです。
- ・わかりやすく、明日からすぐ実践できると感じました。
- ・勉強が足らず難しくまだ自分には早かったと感じた
- ・十分に実践出来ていないと感じていたから
- ・当病院では、施設、地域への退院が多くサマリーを書くことが多いので、サマリーの書き方をしっかり学びたかったがとても分かりやすかったです。
- ・在宅に繋ぐサマリーが必要だと感じています
- ・とてもわかりやすかった

6) 研修全体の感想(複数回答あり)



2. 全体通じた意見・感想

- ・今後の看護に生かしたいと思います。
- ・今までの看護サマリーの書き方を見つめ直すことができ、今後に繋げていきたいと思いました。
- ・とても分かりやすい勉強会でした

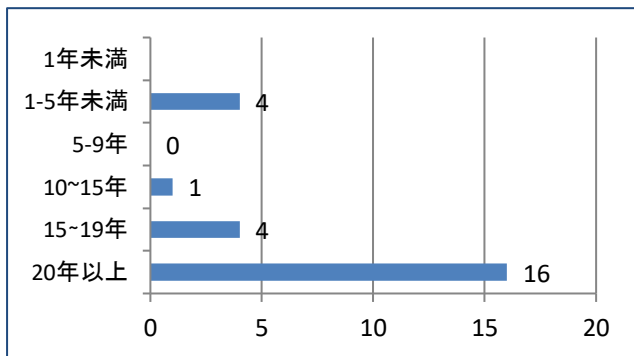
3. 担当者コメント

送り先の目的にあった「看護サマリーの書き方を理解する」のねらい通り、演習を通して療養支援を継続するためにはどんな情報が必要なのか、実践に繋がる学びになった。受講者が少なく、広報等の工夫が必要であった。

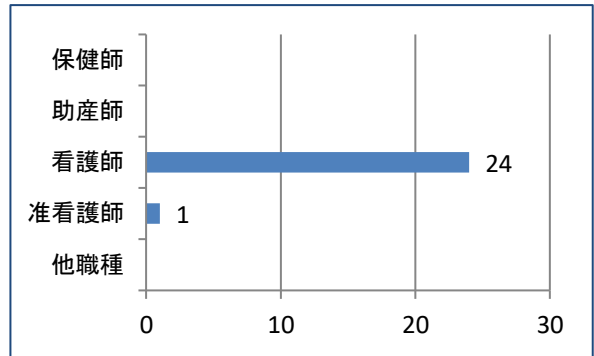
研修名	2)多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇 (オンライン)	
開催日時	令和5年11月17日(金曜日)	時間 9:30 ~12:30
受講者数	25名 (会員23名 非会員2名)	定員 50名
ねらい	1. 看護職の賃金制度改革について理解する 2. 看護職の賃金モデルとラダーとの連動について知る 3. 多様な人材を確保・活用するための賃金処遇について知る	
講師	公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課 奥村 元子	
内容(キーワード)	多様な働き方・処遇改善・看護師キャリア開発ラダーと連動した賃金モデル	オンライン

1. アンケート結果 回答数 25 名 回収率 92.5%

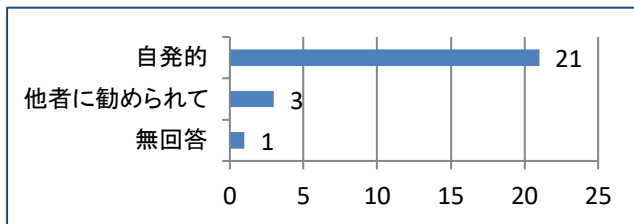
1) 経験年数



2) 職種



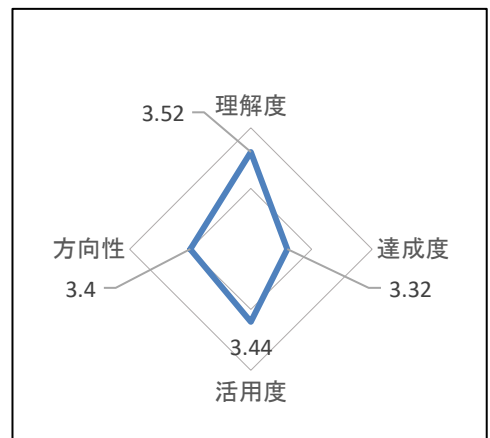
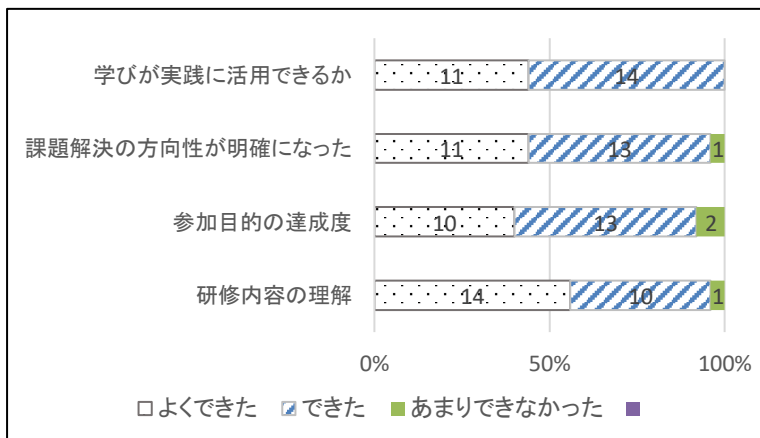
3) 参加について



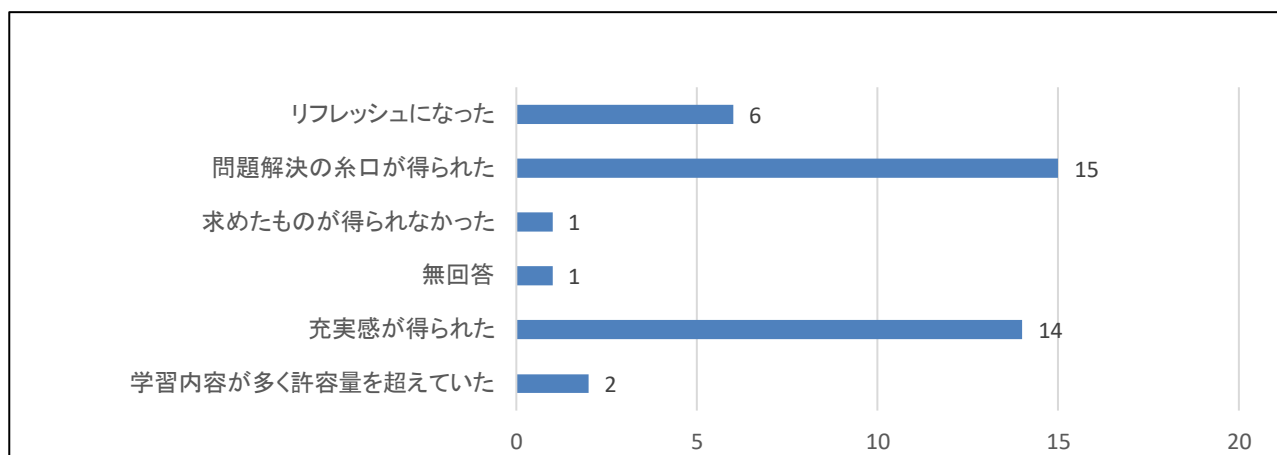
4) この研修をどのように知ったか

チラシ	11
ホームページ	6
教育計画冊子	5
口コミ	1
その他	7

5) 研修内容について



6) 本日の研修についての感想(複数回答あり)



2. 感想

- ・非常に参考になりました。賃金や処遇の適切な評価は、看護師のモチベーション向上になると思った。(2名)
- ・多様な働き方や賃金について学べたため大変勉強になった。
- ・研修は大変良かったが、事務部門への相談が必要なこと、自分の勉強不足もあることを認識した。
- ・次年度に人事考課制度の見直しと、10年以上見直ししていなかった俸給表の見直しのために、コンサルの競合に入るところで参考になった。
- ・研修も資料もわかりやすく理解できた。(3名)
- ・当院は査定すら行われておらず私達より、上司が現状を把握し変えていかなければ変えようがない。働き方の参考になった。
- ・看護職が組織内で適正な評価をされるとともに職員一人ひとりが、働きやすい、やりがいのある職場にしていきたいと思った。
- ・色々勉強したいと思った。
- ・公務員ではないため処遇を決めるのは結局経営者のため難しいと感じた。しかし色々提言していく方向性は見えた。
- ・やりがいを支える評価というものほどの年代にも大切に今回の講義のように賃金についてもっと考え努力するものが報われるものであって欲しいと講義を受けてさらに考えさせられた。
- ・今後の自分の働き方について考えることができた。
- ・診療報酬等について知識不足な点があったためとてもわかりやすく、示唆を得た。もっと知りたいことがある。
- ・分かりやすい講義で大変いい勉強になった。今後のやるべき事が分かった。
- ・院内の師長と共有したいと思う。
- ・医療政策の方向性を理解することができた。パフォーマンスがあがる業務改革を検討したい。

3. 担当者コメント

ポイントを押さえた大変分かりやすい内容であった。国の医療政策の概要を押さえ、プロセスを把握して診療報酬を読み解くという考え方も理解できた。講義の中で、講師の看護職への期待も感じられ、今回の学びを看護管理に活かすことを期待する。